

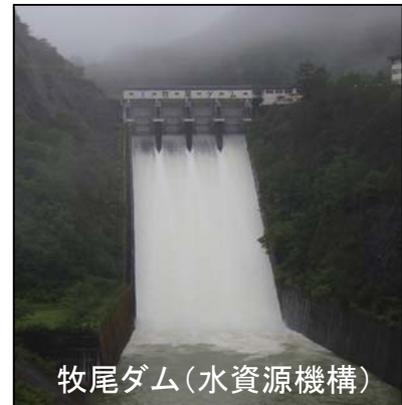
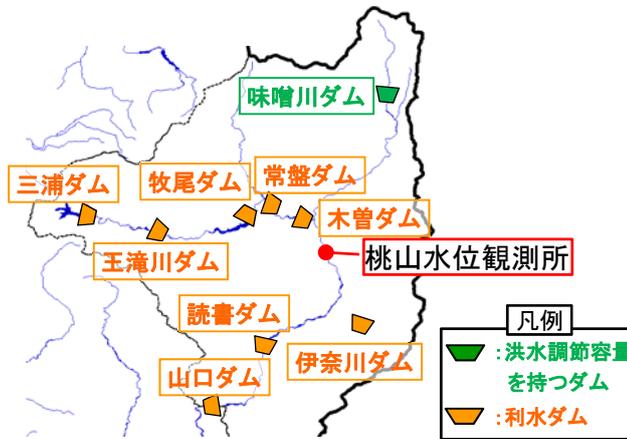
◆既存ダムの洪水調節機能強化による治水効果

治水協定締結後初めて事前放流を実施
 長野県上松町地点※^{あげまつまち}1の流量を2割低減

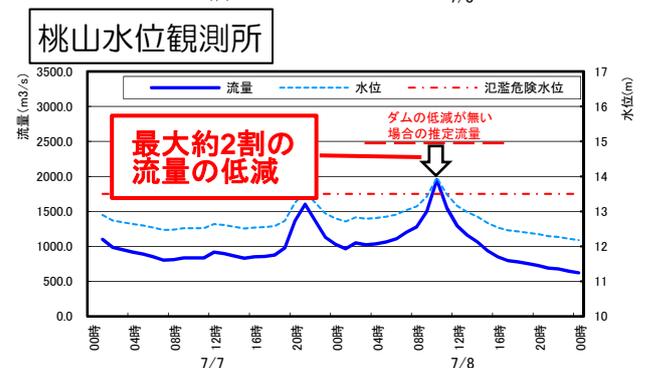
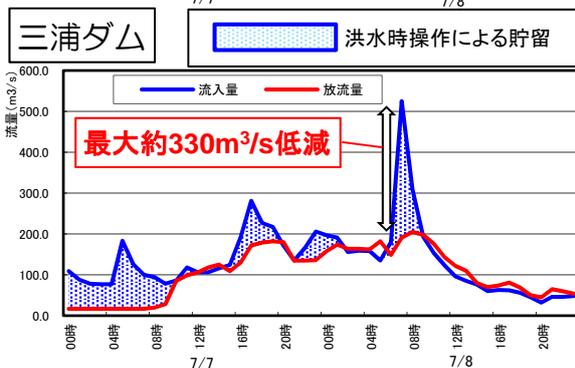
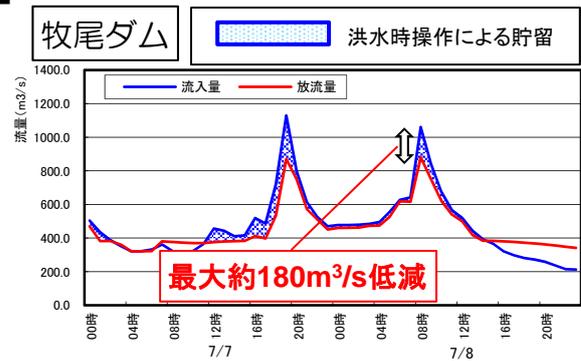
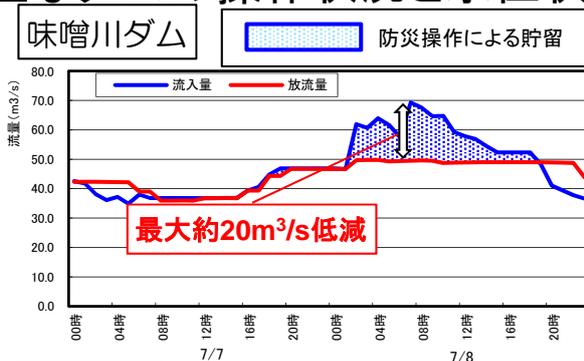
※1 桃山水位観測所（木曾川）地点

- 長野県内の木曾川では、味噌川ダムの洪水調節容量（1200万^{みそがわ}m³）に加え、牧尾ダムや三浦ダムなど、8つの利水ダムにおいて、「一時的に治水に活用できる容量」として約4200万^{まきお}m³を確保※^{みうら}2。
- はん濫危険水位に達していた桃山水位観測所地点における流量を2割ほど減らす効果があったと推定されます。

【位置図】



【主なダムの操作状況と水位状況】



※2 容量を確保するための貯水位低下のほか、容量が確保済みのダムにおいては、現在の貯水位をできるだけ維持。